スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

石川県かほく市

自 治 体 名 ： 石川県かほく市
担 当 課 名 ： 学校教育課
電 話 番 号 ： 076-283-7136

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	64.36㎢
人口	36,347人
公立中学校数	3校
公立中学校生徒数	945人
部活動数 （運動部活動のみ）	17部活
地域クラブ活動数	7クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

令和6年度には3つの競技で休日の活動を地域に展開した。令和7年度からは、休日地域クラブが4クラブ、平日地域クラブが3クラブ活動を始めた（年度途中で休日地域クラブのうち1つが平日も地域展開）。令和6年度は会費徴収は行っていなかったが、令和7年度からは会費の徴収も始め、本格的なクラブ運営をスタートさせた。持続可能な地域クラブとなるよう、安定したクラブ運営体制を確立する必要がある。当市では、令和8年度からの休日学校部活動を廃止する方針としており、市内の全ての部活動の休日地域展開が急務となっている。

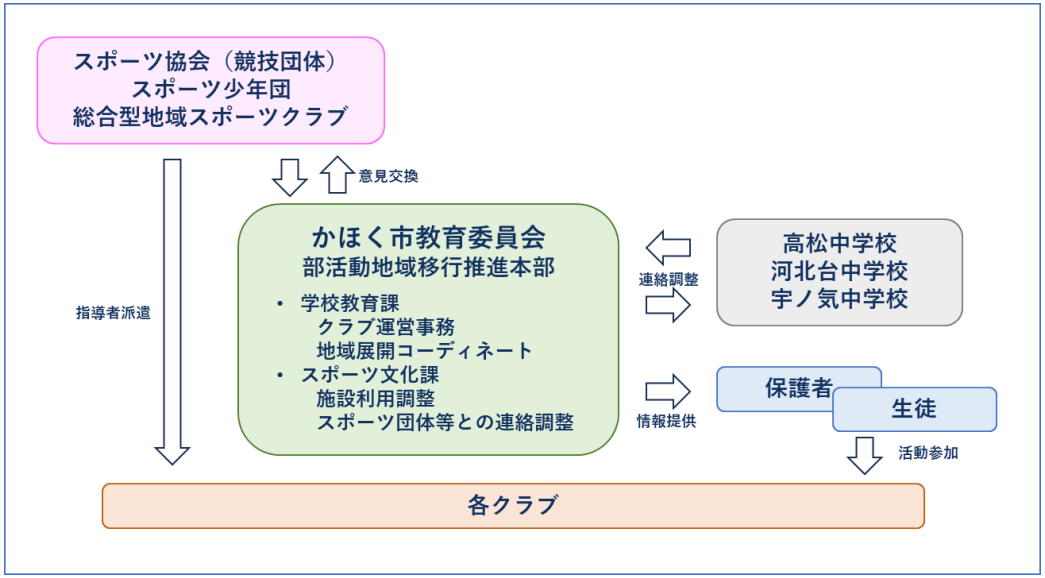
	競技種目	学校名	市内部活動・地域クラブ状況		
			令和6年度（2024）	令和7年度（2025）	令和8年度（2026）
1	バスケットボール	河北台中（男子） 宇ノ気中（男女）	休日地域展開 （年度途中から）	平日・休日地域展開	平日・休日地域展開
2	軟式野球	高松中 河北台中 宇ノ気中	合同部活動	平日・休日地域展開	平日・休日地域展開
3	バドミントン	高松中	部活動 （地域展開試行）	平日・休日地域展開	平日・休日地域展開
				部活動	部活動 （中体連大会後、廃部）
		河北台中	部活動	部活動	平日・休日地域展開
		宇ノ気中	部活動	部活動	休日地域展開
4	ソフトテニス	高松中 河北台中	休日地域展開 （年度途中から）	休日地域展開	平日・休日地域展開
5	卓　球	高松中（男子） 河北台中	休日地域展開 （年度途中から）	休日地域展開	休日地域展開
6	ソフトボール	高松中	部活動	部活動 （中体連大会後、廃部）	-
7	バレーボール	宇ノ気中（女子）	部活動	部活動	休日地域展開
		宇ノ気中（男子）	部活動	部活動	休日地域展開
		河北台中（男子）	-	部活動	部活動 （平日のみ）
		河北台中（女子）	部活動	休日地域展開 →7／1～完全展開	平日・休日地域展開
8	柔　道	河北台中（男子）	部活動	休日地域展開	平日・休日地域展開
9	剣　道	高松中（男子）	部活動	部活動	休日地域展開
		宇ノ気中	部活動	部活動	
10	陸上競技	高松中	部活動	部活動	休日地域展開
		河北台中	部活動	部活動	休日地域展開
		宇ノ気中	部活動	部活動	休日地域展開

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会
【学校教育課】
地域クラブ運営
- 会員入退会管理
- 会費徴収
- 指導者謝支払い
- 会員・指導者保険手続き
- クラブ運営に係る各種支払い

地域展開コーディネーター業務

【スポーツ文化課】
体育施設・学校施設利用調整
スポーツ団体等との連絡調整

年間の事業スケジュール

月	内容
4月	地域クラブ運営開始 地域展開未完了競技の地域展開について関係団体と協議
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	次年度からの状況について順次、保護者説明会開催
12月	
1月	
2月	入学説明会で、新1年生保護者向けに説明
3月	休日地域展開完了

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		7クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（および移行された部活動数）		7クラブ（12部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		0クラブ
全体の指導者数	46人	全体の運営スタッフ数	3人

②各地域クラブ活動に関すること

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
かほくバスケットボールクラブ	教育委員会	バスケットボール	・平日 2回/週 ・休日 4回/月	・平日 19:30～21:30 ・休日 13:00～16:00	・1年: 11人 ・2年: 18人 （・3年: 15人）	通年	10人	3人 （内、兼務3人）	5,000円/月	地域クラブ
かほく軟式野球クラブ	教育委員会	野球	・平日 3回/週 ・休日 4回/月	・平日 16:30～18:30 ・休日 8:30～11:30	・1年: 11人 ・2年: 16人 （・3年: 7人）	通年	2人	3人 （内、兼務3人）	5,000円/月	地域クラブ
高松ジュニアバドミントンクラブ	教育委員会	バドミントン	・平日 3回/週 ・休日 4回/月	・平日 19:15～21:15 ・休日 8:30～11:30	・1年: 9人 ・2年: 4人 （・3年: 8人）	通年	12人	3人 （内、兼務3人）	5,000円/月	地域クラブ
かほくソフトテニスクラブ	教育委員会	ソフトテニス	・平日 0回/週 ・休日 4回/月	・休日 8:30～11:30	・1年: 8人 ・2年: 12人 （・3年: 8人）	通年	5人	3人 （内、兼務3人）	2,000円/月	部活動

※参加者数：3年生括弧書きは、退会済の人数

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各地域クラブ活動に関すること（続き）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
かほく卓球クラブ	教育委員会	卓球	・平日　0回/週 ・休日　4回/月	・休日 8:30～11:30	・1年: 20人 ・2年: 5人 （・3年: 15人）	通年	7人	3人 （内、兼務3人）	2,000円/月	部活動
河北台バレーボールクラブ	教育委員会	バレーボール	・平日　3回/週 ・休日　4回/月	・平日（火） 19:30～21:30 ・平日（木・金） 19:00～21:00 ・休日 13:00～16:30	・1年: 4人 ・2年: 5人 （・3年: 2人）	通年	6人	3人 （内、兼務3人）	5,000円/月	地域クラブ
かほく柔道クラブ	教育委員会	柔道	・平日　0回/週 ・休日　4回/月	・休日 8:30～11:30	・1年: 3人 ・2年: 3人 （・3年: 1人）	通年	4人	3人 （内、兼務3人）	2,000円/月	部活動

※参加者数：3年生括弧書きは、退会済の人数

2.実証内容と成果

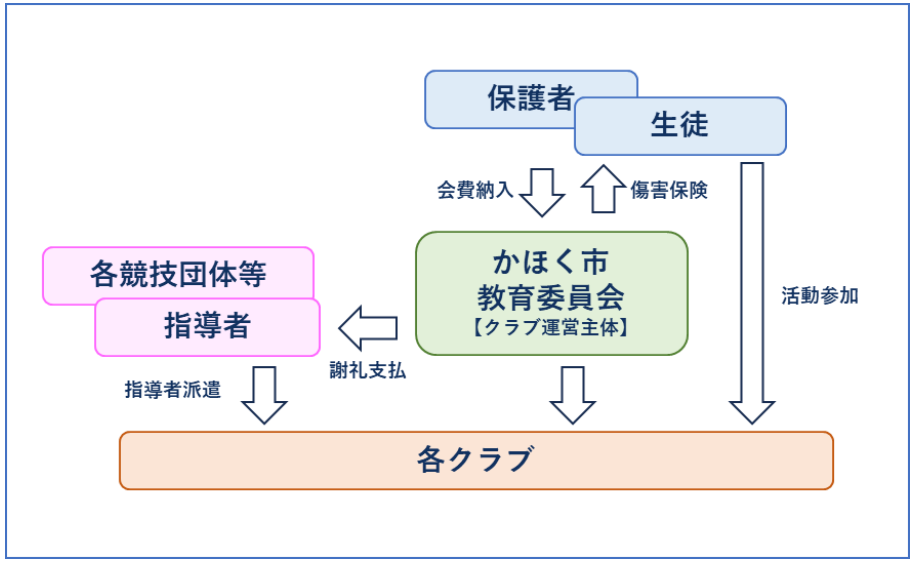
スポーツ庁

主な取組例

●かほくバスケットボールクラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール
運営団体名	かほく市教育委員会
期間と日数	• 平日　2回/週 • 休日　4回/月
指導者の主な属性	かほく市バスケットボール協会員
活動場所	かほく市総合体育館 宇ノ気体育館
主な移動手段	平日・休日　保護者による送迎
1人あたりの参加会費等（月額）	5,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●自治体

役割：クラブ運営を行う（会員管理・会費徴収・保険手続き・支払い等）

●クラブ責任者　1名

役割：クラブチームの総括的な管理を行い、市教育委員会とのパイプ役を担う

●クラブ指導者　9名

役割：クラブ指導を担う

2.実証内容と成果

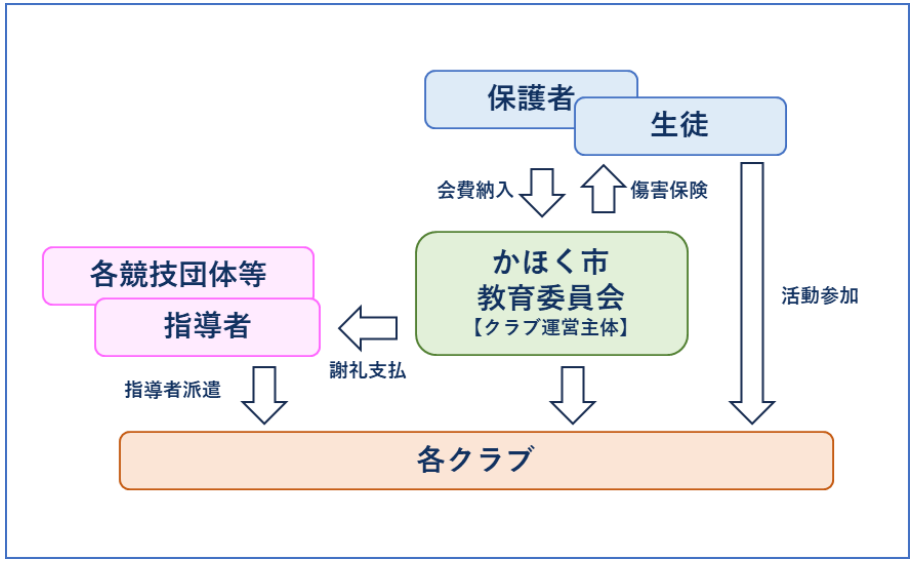
スポーツ庁

主な取組例

●かほく軟式野球クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	野球
運営団体名	かほく市教育委員会
期間と日数	• 平日　3回/週 • 休日　4回/月
指導者の主な属性	兼職兼業教員
活動場所	宇ノ気中学校グラウンド
主な移動手段	• 平日　スクールバス • 休日　保護者による送迎
1人あたりの参加会費等（月額）	5,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●自治体

役割：クラブ運営を行う（会員管理・会費徴収・保険手続き・支払い等）

●クラブ責任者　1名

役割：クラブチームの総括的な管理を行い、市教育委員会とのパイプ役を担う

●クラブ指導者　1名

役割：クラブ指導を担う

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 教育委員会内に地域クラブ運営に当たる職員を配置。会員管理・会費徴収・保険手続き・支払い等、地域クラブ運営に係る事務全般を行った。専任のコーディネーターは配置しなかったが、教育委員会職員がその業務を行った。
- 各クラブ指導者は、競技団体から派遣していただき、そのうち1名がクラブ責任者となり、教育委員会と連携を取りながらクラブ運営に当たった。指導方針、練習内容はクラブ責任者に一任した。
- クラブ内で、生徒間のトラブルや保護者とのトラブル等が発生した場合は、教育委員会からクラブ責任者に対して解決のための助言を行った。

取組の成果

- クラブ運営に関する事務全般を教育委員会が担うことで、クラブ指導者には、各クラブの指導に専念していただくことができた。
- 各クラブに責任者を立てることで、教育委員会との連絡が一元化され、効率的なクラブ運営を行うことができた。
- トラブル発生時には、教育委員会内の生活指導担当の指導主事が中心となって相談に乗る体制を設けることで、教育的な視点から指導を補完することができた。

今後の取組における課題

- クラブ運営に係る事務が極めて煩雑であった。今後、地域展開が進むにつれ事務量が増加することが予測されるため、クラブ運営に係る人材確保や事務効率化が求められる。
- 当初予定していた、市主催の研修会や担当者（クラブ責任者）連絡会を開催することができなかった。

課題への対応方針

- 国・県の補助制度を活用することで、指導者だけではなくクラブ運営体制の充実化も図っていく。また、クラブ運営事務のマニュアル化、トラブル対応集作成等により、事務効率の向上に努める。
- 令和8年度以降も新たな地域クラブが誕生する見込みであるため、新年度の活動スタート前に、地域クラブ責任者を対象とした説明会を開催する。説明会では、指導に当たっての教育的な視点からの留意点、クラブ運営に係る市の統一的なルール等について周知徹底を図る。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- 地域クラブ指導者は、地域の競技団体から派遣していただく形で、質・量の確保を図った。
- 地域展開後も、意欲のある教員は兼職兼業で指導に当たっていただいた。
- 従来から部活動指導員や外部コーチとして部活動指導に携わっていた方を地域クラブ指導者に登用した。
- 県が開催する地域クラブ指導者向け講習会への参加を促し、指導者のスキルアップを図った。

取組の成果

- 上記取り組みにより、地域クラブの指導者は、必要数が確保された。
- 兼職兼業教員や部活動指導員は、従来から生徒の指導に当たっていたこともあり、これらの人材の活用は、教育面での信頼性が担保された指導につながった。また、休日地域クラブで、同一人物が、平日は教員・部活動指導員・外部コーチ（市費で委嘱しているコーチ）として、休日は地域クラブ指導者として指導に当たることで平日・休日一貫指導につながった。

今後の取組における課題

- 【再掲】当初予定していた、市主催の研修会や担当者（クラブ責任者）連絡会を開催することができなかった。
- 一部の競技において、十分に指導者を確保できておらず、将来的な指導者不足が危惧されるケースがある。

課題への対応方針

- 【再掲】令和8年度以降も新たな地域クラブが誕生する見込みであるため、新年度の活動スタート前に、地域クラブ責任者を対象とした説明会を開催する。説明会では、指導に当たっての教育的な視点からの留意点、クラブ運営に係る市の統一的なルール等について周知徹底を図る。
- 将来的な指導者不足が危惧される競技について、新たな指導者の確保に向けて競技団体と継続して協議を行うほか、小学校も含めた教員に兼職兼業の意向確認を行うことで人材の発掘を行う。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- 地域展開未完了の競技について、令和8年度以降の地域展開に向けて競技団体その他関係団体と協議を継続した。
- 地域クラブの練習場所候補として大学施設を活用できないか、市内の大学と協議を実施した。
- 平日夕方に活動するクラブのため、スクールバスを運行した。
- 地域展開が進むことで、スポーツを行わない層が出てくることが予測されるため、これら生徒の受け皿作りについて、スポーツコミッションや総合型地域スポーツクラブと協議を実施した。

取組の成果

- 地域展開に向けた協議の結果、令和7年度末をもって休日の地域展開が完了した。
- 市内大学との協議により、大学体育館の使用の可能性（利用可能時間帯・料金その他諸条件）を明らかにすることができた。令和8年度からの地域クラブによる大学体育館の使用は、条件の折り合いがつかず実現には至らなかったが、今後、地域展開が進む中で練習場所の選択肢が増えた。
- 保護者による送迎が難しい平日夕方にスクールバスを運行されることで、生徒の移動手段を確保した。
- 地域展開後の市内のスポーツ環境整備について、行政・スポーツコミッション・総合型地域スポーツクラブ間で共通認識を持つことができた。

今後の取組における課題

- 休日の地域展開は完了したが、引き続き、平日の地域展開を進めていく必要がある。
- 地域展開が進むことで発生するスポーツを行わない層の受け皿となる活動について、具体的な取り組みを生み出す必要がある。

課題への対応方針

- 平日の地域展開未完了競技について、早期の地域展開に向けて引き続き人材確保・練習場所確保を進める。
- スポーツコミッションと連携し、スポーツ関係者が一堂に会して意見交換を行う場を設け、市のスポーツ環境整備について協議を行う。その中から、部活から地域展開したクラブ以外の新たな取り組みを生み出す。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

- 市として、令和8年度には「休日の部活動廃止」＝「休日地域展開完了」を目標として掲げ、市内の全ての部活動について、地域展開に向けて競技団体等と協議を継続した。

取組の成果

- 【再掲】地域展開に向けた協議の結果、令和7年度末をもって休日の地域展開が完了した。
- 【令和8年度地域展開見込み】（3頁参照）
  休日地域クラブ　8クラブ
  平日地域クラブ　7クラブ

（※休日地域クラブのうち1クラブは、年度途中から平日地域展開予定）

今後の取組における課題

- 【再掲】一部の競技において、十分に指導者を確保できておらず、将来的な指導者不足が危惧されるケースがある。

課題への対応方針

- 【再掲】将来的な指導者不足が危惧される競技について、新たな指導者の確保に向けて競技団体と継続して協議を行うほか、小学校も含めた教員に兼職兼業の意向確認を行うことで人材の発掘を行う。

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

- 令和4年に実施したアンケート結果をもとに、保護者にとって過度な負担とならないようなクラブ会費を設定した。
  休日地域クラブ　2,000円/月　　平日地域クラブ　5,000円/月
- 令和8年度から新たに地域展開する部活動で保護者説明会を開催し、受益者負担の考え方について理解を求めた。説明会では、支出のうちクラブで負担するもの、個人で負担するものについて基準を明確に示した。
- 地域クラブは部活動に準ずるものと位置付け、体育施設・学校施設の使用料を免除することとし、参加者の負担軽減を図った。
- 大会等参加時に、スクールバスを活用することで、参加者の移動に関する負担軽減を図った。

取組の成果

- 十分な説明を行った結果、クラブ会費の徴収について、否定的な意見は見られない。

今後の取組における課題

- 困窮世帯を対象とした支援について現時点で未着手となっている。

課題への対応方針

- 現時点で、困窮世帯を対象とした支援制度は設けていないが、今後、支援制度のニーズを見極め、国補助制度の活用も視野に入れつつ制度創設の検討を行っていく。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等（続き）

収支バランス

収入内訳は、市費がやや大きなウエイトを占めており、受益者負担、県委託料がほぼ同じ割合で続いている。支出内訳は、指導者謝金が大部分を占めている。

地域展開が進むにつれ、会員数も増加し受益者負担による収入額も伸びていくが、それ以上に支出が増大することが予測される。受益者負担額（地域クラブ月会費）を上げることは、生徒のクラブ参加を阻害することにつながりかねず、また、保護者の理解を得ることも難しい。このため、国・県等による補助がなければ、地域展開を進めるほど市の負担が大きくなることが危惧される。

クラブ運営に係るスタッフは3名であるが、うち2名は教育委員会の正規職員が兼務しており、クラブ運営の専任スタッフは1名となっている。支出で計上している人件費は、専任スタッフ分となる。地域展開が進むにつれ、地域クラブ運営に係る事務負担も大きくなるが、事務効率化だけでは限界もあるため、将来的に運営スタッフの増員に伴う人件費の増大も懸念される。

支出の中で最も大きな割合を占めるのが指導者謝金であることから、支出を抑えるためには、今後、1クラブ当たりの指導従事時間に何らかの制限を設けるといった方法が考えられる。しかしながら、謝金額に上限を設けることは、地域指導者の意欲に水を差すことにもつながりかねないことから、慎重に検討しなければならない。

●収入

項目	金額	割合
県委託料	5,200,000円	30.7%
市費	6,394,839円	37.8%
受益者負担	5,341,000円	31.5%
合計	16,935,839円	—

●支出

項目		金額	割合
地域クラブ活動費		16,083,903円	95.0%
	諸謝金（指導者）	13,734,400円	81.1%
	消耗品費	1,315,183円	7.8%
	通信運搬費	366,574円	2.2%
	雑役務費	414,330円	2.4%
	保険料	253,416円	1.5%
事務局運営費		851,936円	5.0%
	人件費	851,936円	5.0%
合計		16,935,839円	—

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

- 【再掲】地域クラブは部活動に準ずるものと位置付け、体育施設・学校施設の使用料を免除することとし、参加者の負担軽減を図った。
- 地域クラブが、部活動と同じ夕方の時間帯に活動する場合には、学校施設の使用を優先的に認めることとした。
- 中学校以外にも小学校体育館等も積極的に活用した。

取組の成果

- 令和8年度に活動する地域クラブは、体育施設・学校施設を十分に活用することで、活動場所を確保することができた。

今後の取組における課題

- 平日地域クラブでは、指導者の都合で練習時間帯が夜にならざるを得ないが、夜は体育施設・学校施設共に既存団体により利用スケジュールが飽和状態である。現状では、これ以上、地域クラブの練習場所を確保することが困難である。
- 夜の施設使用に関しては、従来から使用してきた団体を差し置いて、地域クラブの使用を優先的に認めることはできない。

課題への対応方針

- 体育施設・学校施設の利用スケジュールを抜本的に見直し、既存施設を最大限有効活用する。
- 体育施設・学校施設に限らず、大学体育館等活用できる施設は積極的に活用する。

●取組項目名　ク：その他の取組

取組事項

- 市として、令和8年度には「休日の部活動廃止」＝「休日地域展開完了」を目標として掲げ、取り組みを進めてきたが、そこにとどまらず、平日地域展開も積極的に進めた。

取組の成果

- 令和7年度開始時点では3クラブであった平日地域クラブが、年度途中に4クラブとなり、令和8年度当初には7クラブとなる見込みである。また、令和8年度途中にはさらに1クラブが平日クラブとなる予定である。これにより、市内地域クラブ（運動系）の概ね半分が平日地域展開することとなる。
- 【再掲】【令和8年度地域展開見込み】（3頁参照）
  休日地域クラブ　8クラブ
  平日地域クラブ　7クラブ
（※休日地域クラブのうち1クラブは、年度途中から平日地域展開予定）

今後の取組における課題

- 平日地域展開未完了の部活動は、先述のとおり夜の練習場所の確保が困難であることが原因となっており、地域展開の見通しが立っていない。

課題への対応方針

- 【再掲】体育施設・学校施設の利用スケジュールを抜本的に見直し、既存施設を最大限有効活用する。
- 【再掲】体育施設・学校施設に限らず、大学体育館等活用できる施設は積極的に活用する。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

かほく市教育委員会を運営主体とした地域クラブ運営を行った。

当市では、令和6年度に休日地域クラブが誕生し、活動を始めた。この時点ではクラブ事務局の体制は整っておらず、練習のみ地域指導者に展開するという形をとった。令和6年度は会費徴収を行わなかったが、令和7年度より、会費徴収を伴う本格的なクラブ運営を開始した。クラブ運営に当たり、令和7年度から教育委員会内に専任のスタッフを配置し、クラブ運営に係る各種業務を行った。

地域クラブの活動場所確保のため、体育施設だけではなく、中学校、小学校体育館などの学校施設の有効活用を図った。

市として、令和8年度開始時点での「休日の部活動廃止」＝「休日地域展開完了」を目標として掲げており、地域展開未完了であった部活動の地域展開を進めた。また、平日の活動についても地域展開も積極的に進めた。

その他、地域展開後の市のスポーツの在り方について、スポーツ所管課やスポーツコミッション、総合型地域スポーツクラブと協議をスタートさせた。

●成果の評価

クラブ運営を行う中で様々な問題が発生したが、その都度解決を図り、クラブ運営に係るノウハウの蓄積につながった。これにより、持続可能なクラブ運営の基礎を固めることができた。

市の目標である令和7年度末での「休日地域展開完了」を達成することができた。これにより、令和8年度からは、休日の活動は全て地域クラブとして行うこととなった。また、平日地域展開にも積極的に取り組むことで、令和8年度から平日地域クラブも複数誕生することとなり、市全体で部活動の地域展開を大きく推し進めることができた。

地域展開後の市内のスポーツ環境整備について、行政、スポーツコミッション、総合型地域スポーツクラブ間で共通認識を持つことができた。特に、地域展開により生徒がスポーツから遠ざかることがないような仕組み作りが急務であることが明らかにされた。

●今後に向けて

今後さらに平日地域展開を進めることで、クラブ運営に係る事務負担が増加することが予測されるため、より効率的なクラブ運営体制構築を目指す。

改革実行期間中の早い段階での平日地域展開完了を目指し、引き続き関係団体と協議を継続していく。

地域展開後の市内のスポーツ環境整備について、これまでの協議内容をもとに、具体的な取り組みを生み出す。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【バスケットボールクラブ　戦術説明】



【バスケットボールクラブ　シュート練習】



【軟式野球クラブ　バッティング練習】



【バレーボールクラブ　レシーブ練習】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（市広報で地域展開について紹介）

Information

子ども・教育

知っていますか？　中学校部活動の地域展開

問い合わせ　学校教育課 ☎ 076（283）7136





中学校の部活動は、大きな変革期にあります。少子化により、学校単位でチーム編成ができなかったり、教員の長時間勤務の常態化など、現在の部活動の形で続けていくことが困難になってきました。

そこで、これまで学校教育の一環として行われてきた部活動を、地域全体で関係者が連携し支えていくという形に変えていくという取り組みが全国的に進められています。**部活動を「学校」から「地域」に**移していくことを部活動の**「地域展開」**といいます。

国として、まずは休日の部活動の地域展開を目指し、将来的には平日も含めた地域展開を進めていく予定としています。

本市では、令和６年度から段階的に地域展開を進め、現在７つの地域クラブ（右記）が活動しており、**令和８年度からは、全ての部活動で休日の活動を終了**する予定です。

◎来月号から地域クラブの活動を紹介していきます。お楽しみに！

地域展開したクラブ

●休日および平日地域クラブ（完全移行したクラブ）

▷かほくバスケットボールクラブ
▷かほく軟式野球クラブ
▷高松ジュニアバドミントンクラブ
▷河北台バレーボールクラブ

●休日地域クラブ（休日のみ移行したクラブ）

▷かほくソフトテニスクラブ
▷かほく卓球クラブ
▷かほく柔道クラブ

【広報かほく　2025.11】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（市広報で地域クラブ紹介）

地域クラブ通信（# 01）

中学校の「学校部活動」を「地域クラブ活動」へ展開していく部活動の地域展開が全国的に進められています。
かほく市では、令和６年度から「地域クラブ」による活動を始めています。
このコーナーでは、本市で活動する「地域クラブ」を紹介します。



クラブ情報

クラブ名	かほく軟式野球クラブ
メンバー数	27 人（男 27 人）
会費	月会費　5,000 円
活動日時	平日（月・火・金）　16:30 ～ 18:30 休日（土）　8:30 ～ 11:30
活動場所	宇ノ気中学校　野球グラウンド
大会等の参加	地域クラブチームとして参加
クラブスローガン	昇・勝・笑　～ It's show time. ～
指導者	地域指導者（兼業教員）

クラブ PR

市内３中学校の野球部が地域展開したクラブで、１・２年生 27 人で、目標に向かって練習しています。
学童野球経験者だけでなく、中学に入ってから始めた選手もいます。地域クラブとして、地域から愛され、応援されるチームを目指して頑張っています。

野球未経験者、女子メンバーも大歓迎です！

キャプテンからのメッセージ

限られた練習時間の中で、１つ１つの練習の意味を考え、こだわりをもって練習しています。
クラブスローガンである「昇・勝・笑」をモットーに、県大会優勝を目標に頑張っています。



岸 空輝（くうが）さん



【広報かほく　2025.12】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（市広報で地域クラブ紹介）

地域クラブ通信 (# 02)

中学校の「学校部活動」を「地域クラブ活動」へ展開していく部活動の地域展開が全国的に進められています。
かほく市では、令和６年度から「地域クラブ」による活動を始めています。
このコーナーでは、本市で活動する「地域クラブ」を紹介します。



河北台バレーボールクラブ

クラブ情報

メンバー数	10人（女子10人）
会費	月会費　5,000円　　その他（運営費）　2,500円/月
活動日時	平日　火・金　19:30～21:30 ／ 木　19:00～21:00 休日　土　13:00～16:30
活動場所	平日　高松小学校体育館 休日　河北台中学校体育館
大会等の参加	地域クラブチームとして参加
クラブスローガン	声を大切に、楽しんで、勝つことを目指す！
指導者	地域指導者

クラブPR

昨年７月に河北台中学校バレーボール部から完全地域展開したクラブです。バレーボールは「つなぐ」チームスポーツなので、声を大切にして、笑顔が絶えないチームを選手とスタッフが一緒になって作りあげています。昨年度北信越出場を果たした先輩達と肩を並べられるようにチーム一丸となって頑張っています。

キャプテンからのメッセージ

私たちのチームは、明るく、仲がいいのが１番の魅力です。監督やマネージャも明るく、面白く、どんな時もチームを盛り上げてくれます。初心者でも安心して参加でき、一人一人が成長を実感できるチームです。



立畠 希穂（のぞほ）さん



【広報かほく　2026.1】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年		令和8年
庁内連絡体制の構築	地域展開について競技団体と協議	地域クラブ活動開始（会費未徴収）ガイドライン策定	地域クラブ活動（会費徴収開始）	地域展開未完了競技の地域展開について関係団体との協議	年度開始時点（令和7年末時点）で休日地域展開完了

競技A
- ステークホルダー

部活動顧問・保護者
- 経過
  - 令和6年度、市内中学校で合同部活動実施（肯定的な意見）
    →練習の幅が広がり生徒たちにとって良い刺激となっている
    →大人数での切磋琢磨が良い雰囲気を生む
    →課題よりプラス面が多い
  - 部活動顧問との意見交換実施
    →地域クラブへ移行後も兼職兼業で指導に携わりたい
    →（教員）異動したとしても、市民としてクラブの指導に携わっていきたい
  - 保護者説明会開催
- 実施にあたって生じた課題と対応
  - 練習場所への生徒の移動方法の確保
    →生徒の移動は、スクールバスを使用することで対応
    令和7年度から平日地域クラブとして活動開始

競技B
- ステークホルダー

競技団体・学校長
- 経過
  - 競技団体・学校長・教育委員会で意見交換実施
  - 令和7年度からの地域展開を見据え、令和6年度中に試行的に地域展開実施
- 実施にあたって生じた課題と対応
  - 部活動の地域展開に当たって、クラブでの活動を望む生徒と部活動での活動を望む生徒に分かれる（競技志向か否か）
    →地域クラブ設立後も部活動は併存。新規部員の募集は行わず、現時点の部員が引退後に部活動を廃止
  - 消耗品に係る経費が大きく、補助が必要
    →消耗品に係る費用は、クラブ会費および市費から支出することとし、保護者から追加の負担は求めない
  - 大会参加に係る移動方法の確保
    →大会参加時の生徒の移動は、スクールバス使用または保護者の車乗り合わせで対応
  - 令和7年度から平日地域クラブとして活動開始
  - 費用負担の考え方等は、他クラブ運営にも適用

競技C
- ステークホルダー

地域クラブ指導者・部活動顧問・学校長・保護者
- 経過
  - 令和7年度、休日地域クラブとして活動スタート
  - 令和8年度からの平日夜の練習場所確保の目途が立つ
  - 平日地域展開について保護者説明会開催
- 実施にあたって生じた課題と対応
  - 平日地域展開した際に、クラブに参加しない生徒の対応をどうするか
    →地域展開に向けて動き出した段階から、生徒（保護者）には将来的に平日の活動も地域展開することは説明済
  - クラブに参加しない生徒数は限定的であることが見込まれる
  - 部活動を残したとしても練習が困難
    →学校長・部活動顧問と協議の結果、平日地域展開と同時に部活動は廃部とすることに決定
  - 令和8年度から平日地域クラブとして活動開始

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

